

「道のり」と「きより」・kmを わかりやすく解説（長い長さの単位）

「道のり」と「きより」とは

「家に帰るまでの道のりってどのくらい？」とか「家に帰るまでのきよりってどのくらい」と聞かれたことはないかな？

「道のり」と「きより」ってどちらとも長さを表しているんだけど、少し意味がちがうんだ。

「道のり」と「きより」のちがい

・道のり

人が歩いたり、車や自転車で動いたりしたときの
「道にそってはかった長さ」

・きより

2つの地点を「まっすぐな線でむすんだ長さ」

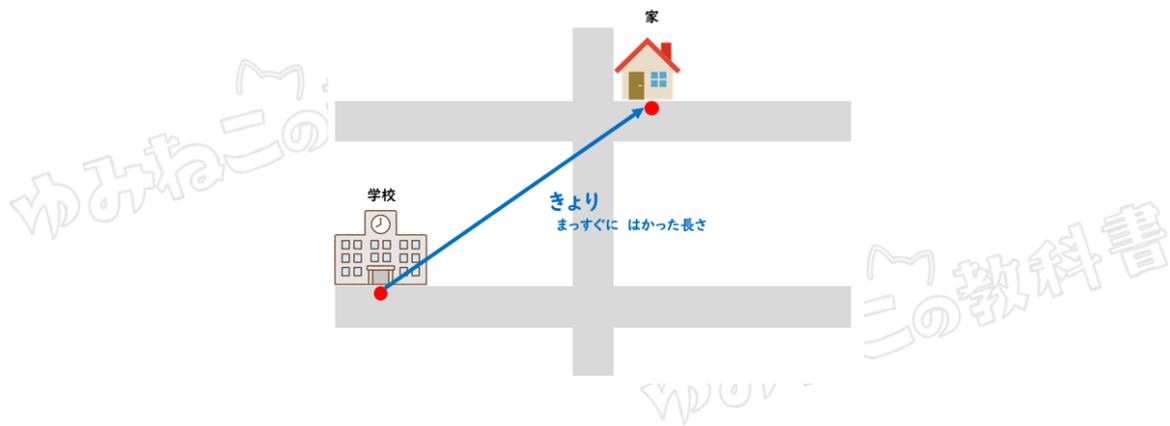
なんとなくわかるような・・・というかんじだね。

「学校から家までを道にそって動いたとき」をあらわす、下の図を見てイメージをつかもう。



学校から家まで、実さいに通る道にそってはかった長さが道のりなんだ。

これに対して、「きより」は2つの地点をまっすぐむすんだ長さだよ。2つの地点を「学校」と「家」だとすると、下の図のようになるよ。



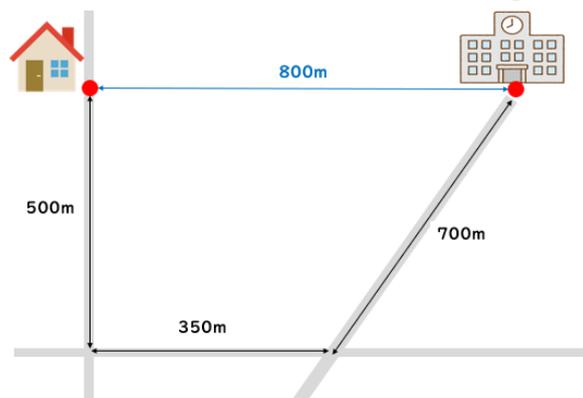
「きより」は、ほんとうなら通れないところもむすんだ長さのことなんだね。

だから、ふつうは「道のり」よりも「きより」の方が短くなるよ。

※道が2つの地点をまっすぐむすぶ道るときは、「道のり」と「きより」は同じになるよ。

「道のり」と「きより」をもとめる練習問題

下の図で、家から学校までの道のりときよりをもとめなさい。



「道のり」をもとめよう

「道のり」とは、「道にそった長さ」のことだったね。
だから、上の図の「黒い線の長さ」を足したらいいね。

$$500 + 350 + 700 = 1550 \text{ m}$$

ともとめられるね。

きよりをもとめる

「きより」は、「2つの地点をまっすぐにおすんではかった長さ」だから、
「家」と「学校」の2つの地点をまっすぐにおすんだ青の線の長さになる
ね。

青の線は800mになっているから、
家から学校までの「きより」は、800mと もとめられるね。

やっぱり「道のり」より「きより」のほうが短くなっていることがわかる
ね。

キロメートル「km」とは（長い長さのたんい）

「道のり」とか「きより」をあらわすときに、よく登場する”たんい”が
「キロメートル（km）」だよ。



「キロメートル (k m)」の書きかた

「キロメートル (k m)」は次のように書くよ。
 「k」の書きじゅんもかくにんしておこう。



キロメートルは、英語で書くと「kilometer」だよ。
 「kilometer」の「k」と「m」なんだね。

「キロメートル (k m)」は次のような場面でよく見るのではないかな？

- ・車に乗っているときに東京まであと25キロメートル (k m) のかん板



- ・マラソンで、あと2キロメートル (k m) でゴールのかん板



「メートル」と「キロメートル」

2年生の算数の「長さのたんい」では、「メートル (m)」「センチメートル (cm)」「ミリメートル (mm)」を勉強したよね。

3年生の算数では、「キロメートル (km)」がなかまにくわるんだね。ここで大事なのが、「メートル (m) とキロメートル (km) のかん係」をしっかりと覚えておくことだよ。

「メートル (m)」と「キロメートル (km)」のかん係

$$\cdot 1 \text{ km} = 1000 \text{ m}$$

1000mが1kmになるということは、メートル (m) で表すと大きい数字でも、キロメートル (km) で表すと小さくなるということなんだ。

たとえば、さっきのかん板をメートル (m) で表したら次のようになるよ。



↑	東京	25000m
	川崎	5000m

数字が多くなって、読みまちがえそうだし、かん板も長くなっちゃうよね。



マラソンのゴールまでのかん板はどうか？

ラスト
2000m

マラソンでつかれているときに、このかん板見たら、読みまちがえそうだし、「えっ・・・ゴールまでまだ2000もあるの!？」と感じてしまいそうだね。

だから、キロメートル (km) という長い長さを表す”たんい”は大切なんだ。

「メートル (m)」と「キロメートル (km)」の 練習問題

「メートル (m)」と「キロメートル (km)」を使った問題をしようかいするね。

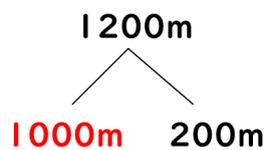
よくある問題のパターンは、「メートル (m)」を「キロメートル (km)」に直したり、ぎゃくに「キロメートル (km)」を「メートル (m)」に直したりする問題だよ。



「メートル」を「キロメートル」に直す問題

1200mは何km何mですか。

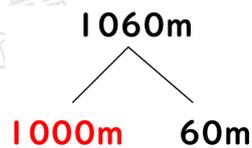
1200mは、「1000m」と「200m」に分けることができるよね。



1000mとは1kmのことだから、
1200mは「1km200m」と表すことができるよ。

1060mは何km何mですか。

1060mは、「1000m」と「60m」に分けることができるよね。



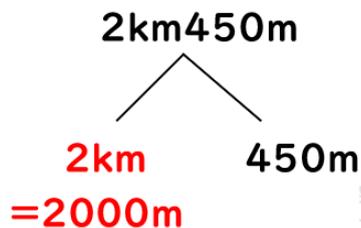
1000mとは1kmのことだから、
1060mは「1km60m」と表すことができるよ。



「キロメートル」を「メートル」に直す問題

2 km 450 mは何mですか。

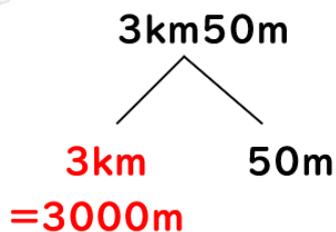
1 kmは1000mだから、2 kmは2000mだよ。ね。
 ということは、2 km 450 mは、「2000m」と「450m」だね。



だから、 $2000 + 450 = 2450$ m
 2 km 450 mは「2450m」ともとめられるよ。

3 km 50 mは何mですか。

1 kmは1000mだから、3 kmは3000mだよ。ね。
 ということは3 km 50 mは、「3000m」と「50m」だね。

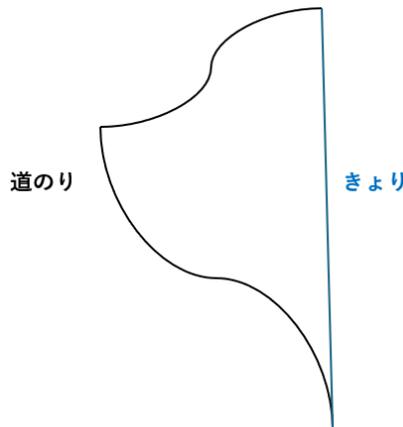


だから、 $3000 + 50 = 3050$ m
 3 km 50 mは「3050m」ともとめられるよ。



「道のり」「きより」「km」（長い長さのたんい）まとめ

- ・ 「道のり」とは、人が歩いたり車や自転車で動いたりしたとき、道にそってはかった長さのこと
- ・ 「きより」とは2つの地点をまっすぐな線でむすんだ長さのこと
- ・ ふつう、「道のり」よりも「きより」の方が短くなる



- ・ 長い長さを表すときには、「キロメートル (km)」を使うことがある
- ・ $1 \text{ km} = 1000 \text{ m}$ 。
- ・ キロメートル (km) をメートル (m) に直したり、メートル (m) をキロメートル (km) に直すときは、「1000m」をもとにして考えるとよい

